

兵庫県立阪神昆陽高等学校

ノーマライゼーション

高齢者も若者も、障害を持つ人もそうでない人も共に暮らし、共に生きていける社会を目指す取り組みのことです。本校では「ノーマライゼーション」をはじめ「対人援助」「地域社会への支援」が学校設定科目として開講されています。



初めは聞き慣れない言葉でしたが、今日の授業でおおまかですが理解できました。ノーマライゼーションを理解する人が増えれば、障害者の方、健常者の方の心や環境が豊かになると感じました。

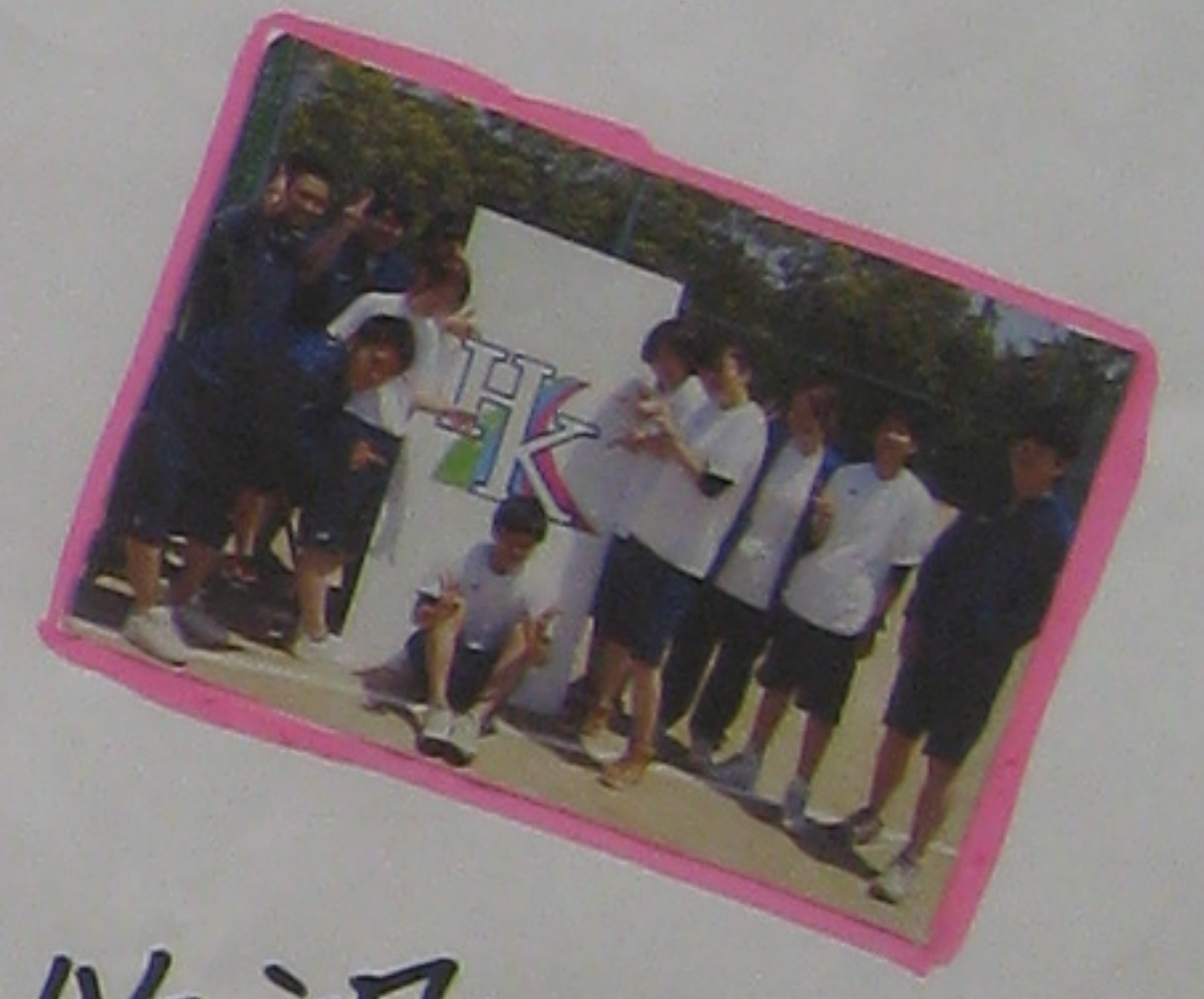
対人援助・地域社会への支援

これらの写真は「対人援助」にていきいきプラザへ、「地域社会への支援」にて清流園へ施設訪問した時の様子です。

どのような支援をされているのかとても興味深く、大変充実した時間を過ごさせていただけました。



施設見学をさせていただいてたくさんの障害のある方と関わり、とても貴重な経験をさせていただきました。

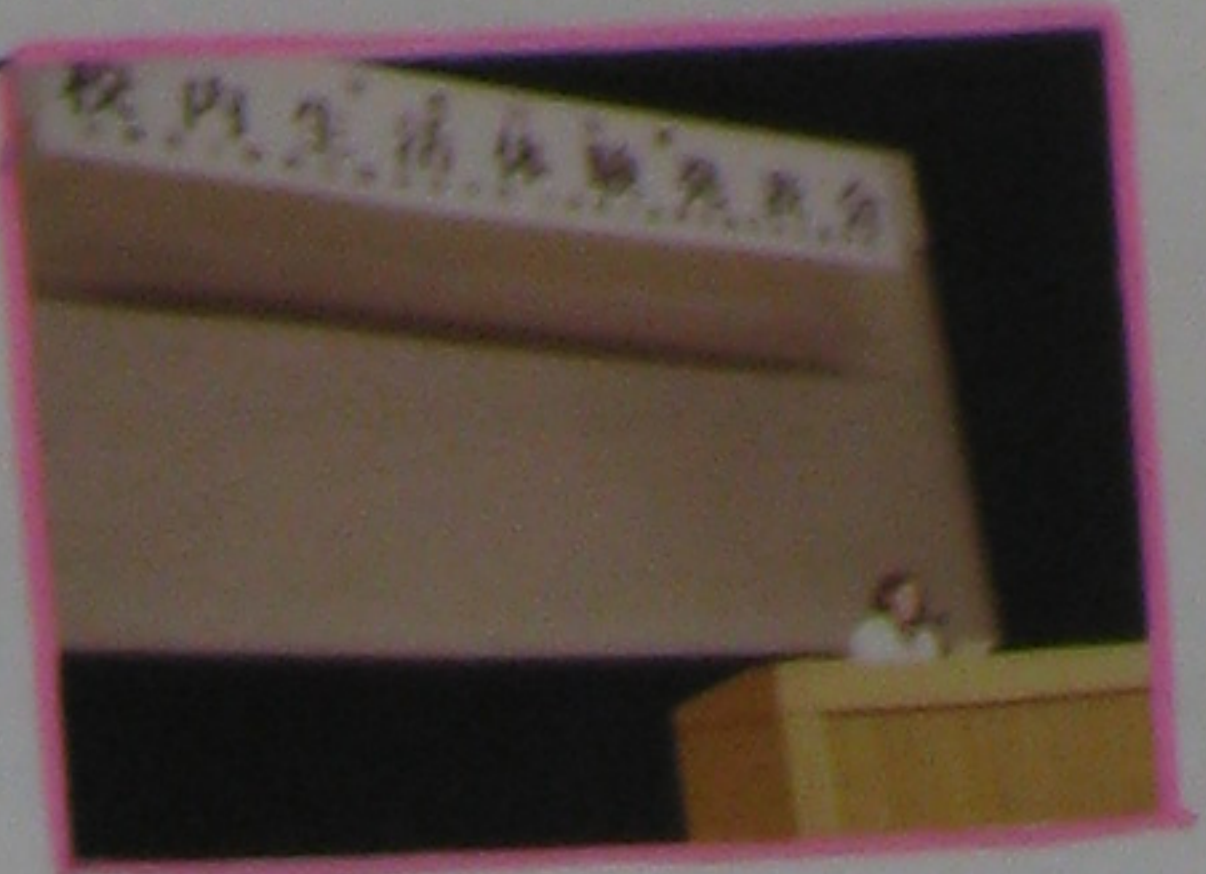


合同行事紹介

本校では同一敷地内に併設されている兵庫県立阪神昆陽特別支援学校と一緒に行事をおこないます。5月におこなわれた体育祭では60m走や部対抗リレー、玉入れや綱引きなど、シンプルながらも盛り上がりました。生徒会メンバーは



入場門の作成、当日の運営など大忙しの1日でした。7月には伊丹ホールにて生活体験発表を行いました。それぞれの部から発表者を選考して両校合計18名の生徒がそれぞれの生活体験で学んだ事、ここからの展望などを発表してくれました。



地域清掃

夏休み前の特別活動で、地域清掃をしました。自分たちが思っている以上にゴミが落ちていてビックリしました。生徒会活動でも地域清掃をして、みんなが住みやすい街にしていきたいと思います。

